

# 平成30年度事業計画

人間を救うのは、人間だ。  
Our world. Your move.

日本赤十字社京都府支部

# も く じ

	ページ
平成30年度 事業計画	1
1. 災害救護体制の充実強化	2
2. 講習普及事業の強化	2
3. 赤十字奉仕団の活動の充実	3
4. 青少年赤十字の育成強化	3
5. 医療施設の充実強化並びに看護師の養成	4
6. 健康相談など医療社会事業活動の充実	4
7. 血液事業の推進	5
8. 国際救援活動の推進	5
9. 支援者の増強と活動資金の確保	5
10. 広報活動の強化	6
11. 赤十字キャンペーンの実施	7
その他	7
<参考資料>	
平成29年度 事業の中間集計	9

# 写真でみる日本赤十字社京都府支部の活動

## ●災害救護体制の充実強化および国際救援要員の派遣



第4（近畿）ブロック支部合同救護訓練（京丹波町）



京都府総合防災訓練（八幡市）



災害救護ロジスティクス合同研修（上京区）



JR列車事故総合訓練（向日市）



Bangladesh 避難民救援  
～現地での救援活動の様子～  
（京都第二赤十字病院から医師、理学療法士を派遣）

## ●赤十字キャンペーンの実施



ひろげよう赤十字の輪（和）＜ポルタキャンペーン＞  
～キャンペーン会場で防災セミナーを実施しました～



七条鴨東商店街のご協力を得て、  
赤十字バナーを掲揚しました。



ひろげよう赤十字の輪（和）  
＜まいづる田辺城まつり＞



あすのkyoto・地域創生フェスタ  
～缶バッジを作っています～

## ●赤十字奉仕団の活動



第4（近畿）ブロック青年赤十字奉仕団リーダー養成研修会  
（右京区（あうる京北））



中京区民ふれあいまつり 2017  
～地域奉仕団による赤十字PR～

## ●医療事業・血液事業の推進



京都第一赤十字病院フェスティバル  
～電気メスを使って手術体験～



こども献血ツアー2017  
～模擬献血体験～

## ●講習普及事業の強化



救急法講習



水上安全法講習



幼児安全法講習



健康生活支援講習

●青少年赤十字 (JRC) の育成



JRC リーダーシップ・トレーニングセンター  
(宇治市 (アクトパル宇治))



JRC 高校生メンバーによる  
NHK 海外たすけあい募金活動



第4 (近畿) ブロック支部JRC国際交流 (受入)  
～マレーシア赤新月社メンバーと交流～

●有功会事業



京都府支部有功会総会



有功会会員から小児病棟入院児童へ  
クリスマスプレゼント

## 平成30年度 事業計画

赤十字事業の推進につきまして、平素から京都府民の皆様や関係各位の方々から深いご理解とあたたかいご支援を賜り厚くお礼申し上げますとともに心から感謝申し上げます。

昨年、日本赤十字社は創設140周年の記念の年を迎えました。この間、人間のいのちと健康、尊厳を守るという使命の下、取組みを進めてまいりましたが、近年の社会経済状況や社会構造の変化は大きく、さらなる時代の要請に的確に答えていくため、皆様方のご理解とご協力を得て事業や執行体制の見直しを図るとともに、平成29年度からこれまでの社員制度を抜本的に見直したところでございます。

さて、未曾有の大災害となった東日本大震災から7年近くが経過し、今なお復興途上にある中、一昨年4月にも熊本地震による大災害が発生しました。昨年も7月の九州北部や秋田県における記録的な大雨による災害、10月にも相次ぐ台風により府内各地で被害が発生しており、この間、国内だけでも28都道府県40件の災害に日赤救護班が出動するとともに義援金を募集するという異常な事態が続いております。

一方、世界各地でも自然災害、紛争、テロにより人々の生命や尊厳が脅かされる危機的な状況が続いており、赤十字の人道支援の役割や期待は大変大きくなっています。

このため、京都府支部では熊本地震などの災害現場での経験を活かし、大規模災害発生に備え、迅速かつ機動的な救護活動を展開するための資器材の整備や訓練の実施などによる対応力の強化、府民の皆様とともに地域の防災について考える地域防災セミナーや救急法等各種講習、青少年赤十字の育成など赤十字ボランティアの皆様とともに推進してまいります。

また、病院事業は公的病院として地域と連携して質の高い医療・保健・福祉サービスの提供に努めてまいりますとともに、血液事業は輸血用血液の安全性の向上並びに安定供給の確保、10代から30代の若年層に対する積極的な取組みを展開してまいります。

当支部の事業は、活動資金にご協力をいただく府民の皆様のご支援によって成り立っているところであり、これまで以上に積極的な情報発信に努めてまいりますとともに、皆様の信頼に応えられるよう支部、病院、血液センターが一丸となって使命感を持って取組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

# ☆☆☆☆☆ 30年度の重点施策項目 ☆☆☆☆☆

1. 災害救護体制の充実強化
2. 講習普及事業の強化
3. 赤十字奉仕団の活動の充実
4. 青少年赤十字の育成強化
5. 医療施設の充実強化並びに看護師の養成
6. 健康相談など医療社会事業活動の充実
7. 血液事業の推進
8. 国際救援活動の推進
9. 支援者の増強と活動資金の確保
10. 広報活動の強化
11. 赤十字キャンペーンの実施

具体的な施策は次のとおりです。

## 1. 災害救護体制の充実強化

災害救護は、赤十字本来の使命達成のため最も重要な事業の一つです。本事業は「日本赤十字社防災業務計画」に基づくものであり、未曾有の大規模自然災害となりました東日本大震災や震度7の地震が連続して発生した熊本地震における救護活動の経験を踏まえて、今後も多様化する不測の事態に対処できるよう救護、救援体制の一層の充実と強化を図るとともに救護班員に対する研修・訓練等の充実に努めます。

また、本社において開催される「全国赤十字救護班研修会（日赤DMAT研修会）」に各病院施設から救護班を派遣し、災害時の超急性期に「日本DMAT」と協働できる救護班の育成強化に努めます。重点取組は次のとおりです。

- (1) 災害発生時の迅速かつ適切な救護体制（救護資材及び備蓄物資）の整備
- (2) 職員等救護員の養成と救護研修体系の整備・充実
- (3) 防災ボランティアの育成と救護研修体系の整備・充実
- (4) 支部登録救護員や防災ボランティアを対象にした「こころのケア研修」の実施
- (5) 地区・分区への救護用資器材（炊出し用大釜）の計画配備

## 2. 講習普及事業の強化

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命にもとづき、講習会を開催しています。京都府支部が普及に努めている各種の講習は、

- (1) 救 急 法：日常生活における事故防止、手当の基本、一次救命処置、けが



などの応急手当、搬送の方法、災害時の心得

(2) 水上安全法：水上における事故防止と溺者の救助や応急手当の方法

(3) 健康生活支援講習・災害時高齢者生活支援講習

：高齢者の自立に向けた介護の方法、高齢期を迎える前からの健康管理への備え、地域での包括ケアシステムにおける高齢者支援、認知症を正しく理解して、適切な対応などの習得

：災害時における高齢者の避難所等での生活支援の知識や技術

(4) 幼児安全法：こどもの尊い生命を守り、社会全体で子どもを育てるために、こどもに起こりやすい事故の予防と手当の方法、家庭内での看病の方法、災害時の乳幼児支援など地域での生活の中で役立つ知識や技術の習得

(上記以外に雪上安全法の講習がありますが京都府支部では開催していません。)

など、いざという時にすぐに役立つ知識と技術を学んでいただくもので、指導する職員やボランティア指導員のスキルアップを図るとともに、赤十字の地区・分区や各奉仕団体等における講習会の開催など各種講習会の普及拡大に努めます。

また、防災教育の普及に努めるとともに、地域包括支援の観点から、赤十字地域防災セミナーとして、生活環境の変化に順応し難いと言われている高齢者が災害時に避難所生活を少しでも快適に過ごせるよう、身近なものを使った生活支援の知識と技術を学んでいただくため、京都府内の各地区・分区、他団体での開催など普及拡大に努めます。

### 3. 赤十字奉仕団の活動の充実

赤十字の基本理念を理解して、明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を実践しているのが赤十字奉仕団です。赤十字奉仕団員として多くの皆様のご参加を得ることが赤十字事業の発展につながるものであり、この組織の充実と強化を図り、奉仕活動の促進に努めるため、次の事項に重点をおき積極的に推進します。

- (1) 赤十字思想の普及並びに支援者増強に関する奉仕活動の推進
- (2) 地域奉仕団、青年及び特殊奉仕団の組織充実と活動の強化
- (3) 災害救護に関する奉仕活動の推進
- (4) 赤十字施設における奉仕活動の促進
- (5) 献血思想の普及並びに地域での献血奉仕活動の促進

### 4. 青少年赤十字の育成強化

将来の赤十字の担い手を育成する青少年赤十字活動を展開し、その強化を図るため、京都府・京都市並びに各市町村の教育委員会、青少年赤十字指導者協議会や青少年赤十字賛助奉仕団等の協力を得て、次の事項を積極的に推進します。

- (1) 青少年赤十字への加盟促進とメンバーの増強
- (2) 京都府青少年赤十字指導者協議会及び京都府青少年赤十字賛助奉仕団の組織強化と指導者の養成
- (3) 青少年赤十字防災教育普及のため、指導者の育成及び青少年赤十字加盟校の防災教

育モデル事業を推進

- (4) 平成30年に100回となるリーダーシップ・トレーニング・センターや各種事業の充実
- (5) 第4（近畿）ブロック各支部合同による国際交流事業(派遣)の実施並びに、本事業を核としたメンバーの育成及び青年赤十字奉仕団(RCY)との連携強化

## 5. 医療施設の充実強化並びに看護師の養成

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は、地域の中核病院として地域医療に大きな役割を果たしています。昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、今後とも次の事項を重点的に実施します。

- (1) 医療サービスの向上、施設設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めます。

京都第一・第二赤十字病院は、地域の病院、診療所などを支援する医療機関の連携を目的とした地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院に指定されているほか、京都第一赤十字病院にあつては救命救急センター、周産期母子医療センター等の運営、京都第二赤十字病院にあつては救命救急センター等の運営、舞鶴赤十字病院にあつては、京都府中丹医療再生計画に基づき整備した緊急時被ばく放射線検査施設及びリハビリテーションセンター等の運営により地域中核病院として病院機能の充実を図ります。

- (2) 災害時における地域の医療活動拠点として整備充実に努めるとともに、常備救護班の派遣など災害救護体制の充実を図ります。

京都第一赤十字病院は、京都府基幹災害医療センターに指定されており、災害時における京都府内の医療活動拠点の中核施設として、いかなる事態においても即応できる体制づくりに努めます。

- (3) 京都第一及び京都第二赤十字看護専門学校では、赤十字の災害救護と病院看護に役立つ高度な看護教育を目指し、今後とも優秀な赤十字看護師の養成に努めます。

## 6. 健康相談など医療社会事業活動の充実

府民の疾病予防と健康保持のため、関係機関と連携を図り、次の施策を実施します。

- (1) 母子家庭の母親検診事業

京都第一赤十字病院等において、母子家庭の母親の成人病を早期に発見し、治療促進を図るため、検診や健康相談を充実します。

- (2) 患者及び患者家族に対する医療ソーシャルワークの充実を図ります。

## 7. 血液事業の推進

平成30年度の血液事業運営にあたっては、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（平成15年7月施行）及び医薬品医療機器等法関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者等としての責務に努め確実な事業を遂行します。

現在、超少子高齢社会の進展に伴い、若年層献血者が減少しております。今後の輸血医療を支えていくために、特に10代、20代、30代の方々に、将来にわたって献血へご協力いただくことが大変重要と考えております。そこで、将来の献血を支える高校生や小中学生を対象に、献血の意義や輸血用血液製剤についての理解を促進する取組として、「献血セミナー」を学校へ出向いて積極的に実施し、輸血用血液製剤が安定的に供給される体制を維持するよう努めています。

また、血液センターの施設設備が狭隘で老朽化が著しいことから、伏見区に30年度内に移転させる計画であり、併せて災害救護対応力の向上を図るため、日赤救護班の活動拠点や救護物資備蓄機能を備えた整備を行います。

## 8. 国際救援活動の推進

自然災害や紛争をはじめとして緊急対応を要する事態が多発する情勢にあることから、より一層国際救援活動を強化するため、日赤本社、第4（近畿）ブロック各支部及び管内施設との連携の中で次の事業を推進します。

- (1) 災害、紛争等による被災者や避難民の救援活動の充実強化
- (2) 国際救護・救援要員の育成強化
- (3) 開発途上国に対する支援活動の強化
- (4) 国際交流活動の促進
- (5) 本社国際部から照会のある在外日本人及び在日外国人の安否調査の実施

## 9. 支援者の増強と活動資金の確保

昨年度は誰もが参加しやすい環境を整備することにより、支援者の拡大を図るため、日本赤十字社定款が改正され、社員を会員に、社費を会費と名称を変更するなどの社員制度の見直しが行われました。

今後は会員への情報提供の充実をはかり、制度の定着と支援者の増強に努めてまいります。

### (1) 支援者の増強

赤十字への理解と協力を得るため、府民に対してひろく赤十字活動を啓発し、地区・分区、地域奉仕団や地域役員の皆様と連携し、従来と変わらず目安として年額500円以上のご協力を呼び掛け、支援者の増強を図ります。会員（年額2,000円以上

を寄付の上、会員登録いただいた方) に対しては、年2回赤十字NEWS等を送付するなど、更なる情報の提供に努めます。

また、京都府支部ホームページやSNS（フェイスブック）を通じて、今後さらに広報活動を強化いたします。

#### (2) 高額寄付者の増強

赤十字活動に対し、高額寄付をお寄せいただける方の増強に取り組みます。

#### (3) ダイレクトメールによる活動資金の募集

企業や団体、過去に活動資金をお寄せいただいた方々にダイレクトメールを送付し、有功会会員の協力も得て活動資金への協力を募ります。

#### (4) 法人会員の増強

地区・分区、地域奉仕団等との連携を図り、支部管内の法人に対する訪問活動を推進します。

#### (5) 口座自動引き落としやクレジットカードなどの活動資金募集

従来から実施している戸別訪問による募集方式を補完する仕組みとして、口座自動引き落としやクレジットカード及びコンビニエンスストア設置の端末機から協力をお願いする募集方式についても、引き続き推進します。

#### (6) 遺贈・相続財産による活動資金募集

遺贈に関するパンフレットを活用し、信託銀行、司法書士会、税理士会及び弁護士会などの関係機関に配布し、より一層の推進を図ります。

## 10. 広報活動の強化

広報活動は、より多くの人々に赤十字の思想や活動を理解していただくとともに、赤十字活動に対する参加、協力を得るために不可欠です。

各種赤十字キャンペーンの実施はもとより、広報誌「赤十字きょうと」の発行や赤十字新聞、ポスター、リーフレット等の広報について更に充実を図るとともに、ホームページやフェイスブックを活用して、支部や日本赤十字社の活動を適宜に情報発信してまいります。

また、「私たちは、忘れない。～未来につなげるプロジェクト～」を通じて東日本大震災をはじめ熊本地震、阪神淡路大震災など、これまでの災害の被災者の皆様に寄り添い、災害で得た教訓や支え合った経験を忘れることなく、将来起こりうる災害へ向けて意識の向上を図るため、防災・減災に向けた活動に取り組みます。

これらの活動は、本社が中心となり全国の支部・施設を挙げて展開している広報活動「もっとクロス！計画」により推進しており、今後も社会・時代・地域等との連携（クロス）

を重視した活動を実施します。

## 1 1. 赤十字キャンペーンの実施

世界赤十字デー（赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの生誕日）や日本赤十字社の創立記念日である5月を中心に、赤十字奉仕団、地区・分区等の協力を得て、各種の赤十字キャンペーンを支部・施設・地区・分区・赤十字ボランティア等が一体となって実施し、広く府民に赤十字思想の普及と赤十字事業に対する理解と協力を呼びかけます。

### ◆ その他

#### (1) 赤十字事業の推進体制

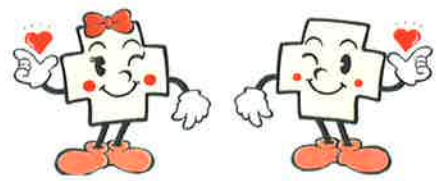
社業の振興と支援者増強体制の充実とともに、地域に密着したよりきめ細かな対応を図るため、地区・分区の赤十字業務関係者などの会議等を通じて、理解と協力を得るよう努めます。本年度も、地区・分区において赤十字に関する業務の窓口となっただいている担当者の方々を対象に、業務の概要について説明を行うとともに、今後の業務を円滑にとり進めていただくための会議を開催します。

#### (2) 京都府支部有功会の会員の増強並びに組織の充実・強化

京都府支部有功会は、日本赤十字社の金色有功章を受章された皆様が、赤十字の行う災害救護活動等をはじめとした人道的な諸事業に賛同していただいた有志により昭和37年12月に全国で4番目の有功会として結成され、平成29年12月末現在317名の会員に活動いただいています。

有功会員の皆さまには、活動資金の募集をはじめ、赤十字事業の推進に多大のご支援をいただいております。更に連携を密にして、会員の増強や組織の充実・強化に努めます。





ラブちゃん レッドくん

## <参考資料>

# 平成29年度 事業の中間集計

1	災害救護活動
2	赤十字の各種講習
3	赤十字奉仕団
4	青少年赤十字
5	医療事業
6	健康相談など医療社会事業
7	看護師の養成
8	血液事業
9	国際活動
10	支援者の増強と活動資金の確保
11	赤十字思想の普及・広報活動
12	赤十字大会の開催
13	評議員会
14	業務・会計監査
平成29年度の主な行事	

# 1. 災害救護活動

## (1) 救護員の体制

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	1	11	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	14	26	15	10	65	常備救護班要員
京都第二日赤	6	24	11	7	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃（福知山）	0	0	2	0	2	〃
合計	23	60	48	18	149	

※ 第一日赤・第二日赤の常備救護班要員には、DMAT隊員登録者を含んでいます。

※ 看護師・助産師には、こころのケア要員を含みます。

## (2) 防災ボランティア団体の育成

赤十字レスキューチェーン京都

支会名称		団員数
舞鶴支会		5
福知山支会		10
亀岡支会		14
京都支会		17
長岡京支会		13
宇治支会		13
個人	一般防災ボランティア登録	75
	救援ヘリコプター登録	2
合計		149

・また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

平成29年度特殊救護要員登録者数	23
------------------	----



(3) 救護員等の訓練、研修

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者数
第4ブロック合同災害救護訓練	6/17	京丹波町（丹波自然運動公園）	89
亀岡市総合防災訓練	8/26	亀岡市（曾我部町公民館）	4
京都市総合防災訓練	9/2	京都市南区（東寺）	24
京都府総合防災訓練	9/3	八幡市（八幡市民スポーツ公園）	33
福知山市地域防災訓練	9/3	福知山市（由良川河川敷）	15
宇治市総合防災訓練	10/15	宇治市（東宇治中学校）	7
JR列車事故総合訓練	11/8	向日市（向日総合車両京都支所）	10
京都府原子力総合防災訓練	11/12	綾部市（綾部市民病院）	7
出水学区防災訓練	12/3	上京区（二条城北小学校）	2
合 計			191

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
救護班要員基礎研修	5/20	京都第一赤十字病院	83
救護員としての赤十字看護師研修（救急法）	5/27、 6/23～25	京都第二赤十字病院	32
全国赤十字救護班研修（第1回）	7/1～3	兵庫県支部災害救護支援センター 及び兵庫県支部	1
日赤災害医療コーディネーター研修会（第2回）	10/14～15	本社	2
救護員としての赤十字看護師研修 （こころのケア研修）	10/18	舞鶴赤十字病院	8
救護員としての赤十字看護師研修（救急法）	11/15～17	舞鶴赤十字病院	8
災害救護ロジスティクス合同研修	11/25	京あんしん館及び梅屋ひろ ば公園	26
こころのケア指導者養成研修（第1回）	12/11～13	日本赤十字社幹部看護師研 修センター	1
合 計			161

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会 場	参加者数
支部救護員指導者協議会	4/10	京都府支部	23
第4ブロック救護員指導者協議会	4/28	京都第一赤十字病院	28
支部救護員指導者協議会	9/11	京都府支部	23
第4ブロック救護員指導者協議会	10/15	京都第一赤十字病院	28
第4ブロック救護員指導者協議会	12/15	大阪府支部	11
合 計			113

(4) 防災啓発講座 (赤十字地域防災セミナー)

内 容	実施日	場 所	参加者
災害時高齢者生活支援のために など	10/28	日吉ヶ丘集会所	63
	11/30	京都市下京区社会福祉協議会	23
合 計			86

(5) 救護、救援活動派遣実績

①災害救護、救援活動の派遣実績

内 容	実施日	場 所	派遣人員
平成29年台風18号災害救援物資搬送	9/20、26	宮津市	2

②イベント等への救護員の派遣実績 (ボランティア派遣人員を含む)

内 容	実施日	場 所	派遣人員
亀岡平和祭花火大会	8/9	亀岡市 (保津川河川敷)	12

(6) 警戒本部等運用実績

種別	回数 (延べ)	従事人数 (延べ)
地震に対する警戒本部運用	0	0
風水害に対する警戒本部運用	1	1
合 計	1	1

## (7) 整備している救護資材

資機材品目		保有数量	備 考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	4	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に常置
	装備車(トラック)	2	
	その他の救援車両	5	
除染	除染設備(テント)	2	除染設備一式、特殊防護服4着は舞鶴に常置※
	特殊防護服(レベルC)	18	
テント	エアー	3	
	パラソル	58	27張は地区・分区に配備
	パイプ2×3間	82	66張は地区・分区に配備
	パイプ3×3間	2	
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器(AED8台を含む)		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		14	
担架(特殊を含む)		28	
衛星通信機器(車載用2台を含む)		9	支部、第一、第二、舞鶴の各病院に衛星回線(インターネット)を使用した基地局(IPSTAR)を開設
無線機	150MHz	42	
	410MHz	29	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※ この他に、除染設備(テント)一式及び特殊防護服(レベルC)4着が京都第一、京都第二赤十字病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

## (8) 災害救護用備蓄倉庫

地 域	設 置 場 所	形 状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	京都第二赤十字病院所有地内	建物内
	日赤京都救護活動センター内	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター内	コンテナ倉庫
	精華町消防本部敷地内	コンテナ倉庫

(9) 救援物資の配布と備蓄

① 救援物資の配布状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布配付数	緊急セット 配付数
	世帯数	人員		
住家全焼	7	14	14	7
住家全壊	0	0	0	0
住家流出	0	0	0	0
住家半焼	3	9	6	2
住家半壊	1	1	1	1
住家床上浸水	16	60	41	17
避難所	19	30	17	6
合計	46	114	79	33

② 救援物資の備蓄状況

場所	毛布 (枚数)	緊急セット
支部等の倉庫	6,980	3,030
地区・分区	812	499
合計	7,792	3,529

(10) 災害死亡見舞金の贈呈

火災などの災害により死亡された方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(平成29年12月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

5件 6名 120,000円 (1名あたり 20,000円を贈呈)

(11) 国内災害義援金

(平成29年12月末日現在)

	京都府支部		全国 (募金総額)
	件数	金額 (円)	金額 (円)
東日本大震災	26	9,498,364	706,143,567
平成28年熊本地震災害	28	13,784,932	698,683,210
平成28年新潟県糸魚川市大規模火災	4	100,657	133,211,721
平成29年7月5日からの大雨災害	24	11,630,386	2,241,379,651
秋田県大雨災害	9	43,736	100,510,745
平成29年台風第18号災害	5	449,847	39,521,886
平成29年台風第21号災害	2	12,000	12,244,364
合計	98	35,519,922	3,931,695,144

※全国 (募金総額) の金額は「速報値」

※東日本大震災義援金：平成23年受付開始からこれまでの累計額は、3,396億9,893万4,758円

※平成28年熊本地震災害義援金：平成28年受付開始からこれまでの累計額は、287億9,170万1,620円

## 2. 赤十字の各種講習

講習区分	資格講習						短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		検員養成講習		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数	回数	人数				
救急法	23	955	7	171	4	125	45	1,844	79	3,095
水上安全法			3	25	1	8	5	92	9	125
健康生活支援講習			4	36	1	9	24	395 (176)	29	440
幼児安全法			2	36	1	22	29	778	32	836
合計	23	955	16	268	7	164	103	3,109	149	4,496

※ この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※ ( ) 内は、災害時高齢者生活支援講習会の受講者数。

### (1) 救急法等 (救急法・水上安全法)

#### ① 指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	5	53	87	145
水上安全法	0	0	20	20

#### ② 講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
水上安全法指導員研修会	7/6	京都府立青少年海洋センター	1
赤十字救急法講師研究会	11/6～11/7	本社	1

### (2) 健康生活支援講習等 (健康生活支援講習・幼児安全法)

#### ① 指導体制

講習名	支部職員	管内施設職員	ボランティア	合計人数
健康生活支援講習	1	21	4	26
幼児安全法	3	21	4	28

②講習指導員関係研修会

研修会の名称	実施日	会場	参加者数
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習（事前説明会）	7/1	京都府支部	5
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習（本講習）	7/15～17 7/29～30	京都府支部	6
赤十字健康生活支援講習指導員養成講習（新任指導員研修）	8/26～27	京都府支部	5
赤十字幼児安全法指導員養成講習（事前説明会）	9/9	京都府支部	6
赤十字幼児安全法指導員養成講習（本講習）	10/7～9 10/14～15	京都府支部	6
赤十字幼児安全法指導員養成講習（新任指導員研修）	11/25～26	京都府支部	5
第4ブロック赤十字健康生活支援講習指導員研修会	12/12	奈良商工会議所	17

3. 赤十字奉仕団

(1) 奉仕団登録状況

区分	団数	分団数	人数	備考
地域奉仕団	14	220	2,793	京都市11、綾部市1、舞鶴市1、城陽市1
青年奉仕団	3	—	267	赤十字京都ユース25名 京一・京二看護学生奉仕団242名
特殊奉仕団	2	—	91	赤十字レスキューチェーン京都（個人登録を除く）73名 青少年赤十字賛助奉仕団18名

(2) 奉仕団活動状況

①赤十字レスキューチェーン京都

行事名	実施日	会場	参加者数
亀岡平和祭花火大会	8/9	亀岡市保津川河川敷	12
宇治福止まつり	11/5	宇治市総合福祉会館	8
合 計			20

②赤十字京都ユース

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
青年赤十字奉仕団全国協議会	4/22～23	本社	1
赤十字運動月間キャンペーン	5/14	ポルタプラザ	7
第4ブロック代表者会議・基礎研修会	6/25	日本赤十字社京都府支部	22
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	7/29～30	あうる京北	17
平成29年度青年赤十字奉仕団第4ブロック協議会第1回役員会	10/1	日本赤十字社大阪府支部	2
AIDS文化フォーラムin京都	9/30～10/1	同志社大学新町キャンパス	9
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/18～19	あうる京北	5
あすのKYOTO・地域創生フェスタ	11/23	府立植物園	5
合 計			68

※その他に青少年赤十字事業に参加しているほか、毎月1回例会を開催。

③青少年赤十字賛助奉仕団

行 事 名	実 施 日	会 場	参加者数
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	6/20	白沙村荘（京都市左京区）	10
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/5～6	本社	1
第4ブロック支部青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/26～27	大阪赤十字会館、他 （大阪市）	4
合 計			15

3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	57	220



- 上京区民ふれあいまつり2017 -

## 4. 青少年赤十字

### (1) 加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	合計
加盟校数	16	190	7	12	225
メンバー数	942	69,200	2,752	98	72,992

### 2) トレーニングセンター参加状況

対象	実施日	会場	参加校数	参加者数
小学生の部	8/5~7	アクトパル宇治	40	68
中学生の部			13	18
高校生の部			4	24
合計			57	110

※京都府青少年赤十字指導者、RCY、京都府青少年赤十字賛助奉仕団及び赤十字職員（京都第一赤十字病院、京都府赤十字血液センター、京都府支部）がスタッフとして44名参加。

### (3) 国際交流事業の実施

和歌山県支部が事務局となり第4ブロック（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）支部が合同でマレーシア赤新月社メンバー12社、指導者3名を受入

プログラム	期間	参加者	参加人数
京都プログラム	9/14~15	マレーシア赤新月社メンバー（2名） JRC高校生メンバー、指導者、RCY他	41
ブロック版 国際交流集会	9/16~18	JRC高校生メンバー、指導者、職員	4

京都プログラム：ウエルカムパーティ、JRC加盟校（幼稚園、高校）・看護学校を訪問及び血液センターの見学。  
ブロック版国際交流集会：活動紹介、文化交流、フィールドワーク等を実施。（国際交流集会参加61名）



－ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター －



## (4) 活動状況

行事名	実施日	会場	参加者数
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/17	京都府支部	12
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/19	京都市総合教育センター	14
第4ブロック支部青少年赤十字指導者協議会	6/1	兵庫県支部	2
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/3	京都府支部	36
第4ブロック支部青少年赤十字指導者研修会	6/24~25	しあわせの村 (兵庫県)	2
全国青少年赤十字指導者協議会総会・研修会	6/29~30	本社	1
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	7/3	京都府支部	19
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	7/23~25	国立オリンピック記念青少年 総合センター (東京都)	1
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター事前研修会	7/27	京都府支部	25
防災キャンプ 2017 in 京都	7/30	与謝野町立中央公民館	2
京都府青少年赤十字高校生メンバー対象赤十字救急法講習会	7/31	京都府支部	28
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター反省会	9/28	京都府支部	11
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	11/19	京都府支部	35
青少年赤十字指導者中央講習会	11/25~26	本社	1
子ども体験教室 (ふれあいバスケット)	12/10	京都市立音羽小学校	62
合 計			251

## (5) 高校生による献血の街頭啓発

学校名	実施日	会場	参加者数
華頂女子高等学校 JRCメンバー	7/22	献血ルーム四条	9
華頂女子高等学校 JRCメンバー	8/26	献血ルーム四条	7
京都府立北嵯峨高等学校 JRCメンバー	11/19	献血ルーム四条	17

## (6) 青少年赤十字モデル事業

テーマ	会場
「健康・安全」 命の尊さを知り、自主的に健康で安全な生活を実践できる子どもの育成 ・健康教育を青少年赤十字の観点で見直し実践する。 ・青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」の活用を考える。	京都市立音羽小学校
「健康・安全」 自分の生活や健康に興味関心を持ち、自ら進んで望ましい生活習慣を形成する子の育成 ・授業での学習活動とともに、係活動や委員会活動、校内掲示、放送等の学校総体で児童の実践力向上を図る。そのために研究授業を行い、教師の指導力を高める。	京都市立市原野小学校

## 5. 医療事業

病院名	許可病床数	特色
京都第一赤十字病院	666	基幹災害医療センター、周産期センター、救命救急センター
京都第二赤十字病院	672	救命救急センター
舞鶴赤十字病院	198	リハビリテーションセンター、訪問看護ステーション

## 6. 健康相談など医療社会事業

社会福祉団体等の依頼による医師、看護師等の派遣

区分	件数	延日数	延派遣職員			
			医師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	3	8	3	2	0	5
京都第二赤十字病院	6	8	2	9	0	11
舞鶴赤十字病院	12	14	0	16	0	16
合計	21	30	5	27	0	32

## 7. 看護師の養成

養成施設及び学生数（平成29年12月1日現在）

学校名	1年	2年	3年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	41 (2)	43 (3)	45 (2)	129 (7)
京都第二赤十字看護専門学校	42 (4)	43 (3)	28 (3)	113 (10)
合計	83 (6)	86 (6)	73 (5)	242 (17)

( ) は男子学生の内数

## 8. 血液事業

### (1) 献血者数

献血方法別	人数
成分献血	19,549
400mL献血	56,869
200mL献血	1,011
合計	77,429

(対前年度比 96.2%)

### (2) 供給本数 (200mL換算)

製剤別	本数
赤血球	110,153
血漿	48,677
血小板	184,395
合計	343,225

(対前年度比 106.7%)

## 9. 国際活動

### (1) 国際救援要員の派遣

#### ①赤十字国際委員会 (ICRC) の要請に基づく派遣

派遣地	派遣期間	所属施設及び職種
バングラデシュ人民共和国	10/20～11/29	京都第二赤十字病院 理学療法士
	11/17～12/7	京都第二赤十字病院 医師

#### ②国際協力機構 (JICA) による青年海外協力隊隊員としての派遣

派遣地	派遣期間	所属施設及び職種
パプアニューギニア独立国	H27/7/1～H29/12/31	京都第二赤十字病院 薬剤師

### (2) 海外救援金

#### ①海外救援金

(平成29年12月末日現在)

	京都府支部		全国 (募金総額)
	件数	金額 (円)	金額 (円)
中東人道危機	4	16,000	35,025,995
2017年南アジア水害	2	12,000	11,174,242
バングラデシュ南部避難民	3	14,000	9,674,130
イラン・イラク地震	-	-	3,042,408
合計	9	42,000	58,916,775

※全国 (募金総額) の金額は「速報値」

※中東人道危機救援金：平成27年受付開始からこれまでの累計額は、1億2,058万3,157円

② 「第35回NHK海外たすけあい」 寄付金

(期間 平成29年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府 (円)	全国 (円)
支 部	780,557	33,266,818
N H K	580,386	23,569,387
銀 行 等	232,889	22,816,624
本社(郵便局含む)		519,888,971
合 計	1,593,832	599,541,800

(注) 数値は「速報値」

(3) 第4ブロック支部国際活動参加事業

ケニア赤十字社が地域保健強化事業として進めている (1) 保健医療サービスへのアクセス向上と母子の健康状況の改善 (2) 保健ボランティアの育成や予防接種の推進 (3) 巡回診療や病院、診療所の機能強化等の項目を重点とした活動を支援するため、第4ブロック支部合同で支援事業を実施。(京都府支部支出額100万円)



- 青少年赤十字高校生メンバーによる「NHK海外たすけあい」街頭募金活動 -

## 10. 支援者の増強と活動資金の確保

### (1) 活動資金収納額

(各年12月末日現在)

区分		平成29年度	平成28年度	対前年度比較(%)
地区扱	京都市	111,713,538	125,714,894	88.9%
	府内14市	73,306,541	79,121,137	92.7%
	府内町村	12,927,658	13,784,922	93.8%
	小計	197,947,737	218,620,953	90.5%
支部扱い		47,714,007	40,609,253	117.5%
合 計		245,661,744	259,230,206	94.8%

### (2) 会員数 (※)

(平成29年9月末日現在)

区分		平成29年度		
		個人	法人	合計
地区扱	京都市	319	155	474
	府内14市	107	9	116
	府内町村	0	0	0
	小計	426	164	590
支部扱い		140	24	164
合 計		566	188	754

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

### (3) 社資功労表彰件数

(平成29年11月末日現在)

表 彰 名	件 数
日本赤十字社社長感謝状	8
金色有功章	9
銀色有功章	6
特別社員章	1

## 1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

### (1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月は、赤十字の創始者アンリー・デュナンが生誕月、日本赤十字社の前身である博愛社創立の月ということから、日本赤十字社では、この5月を「赤十字運動月間」として毎年全国一斉に活動資金の募集を行うとともに、赤十字思想の普及や啓発・広報活動に努めています。京都府支部においても、赤十字運動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくため、様々な取り組みを下表(2)～(4)のとおり積極的に行いました。

### (2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	期日	場所	啓発物配布
ひろげよう赤十字の輪(和)	5/14	京都駅前地下街パルタプラザ	1,000
まいづる田辺城まつり	5/28	舞鶴市田辺城舞鶴公園	600
北区民ふれあいまつり2017	6/4	京都府立清明高等学校グラウンド	200
左京区民ふれあいまつり2016	7/23	京都市勸業館「みやこめッセ」	100
伏見区民ふれあいまつり2017	9/3	京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)	100
右京区民ふれあいまつりフェスティバル2017	10/28	太秦安井公園	500
上京区民ふれあいまつり2017	10/29	京都市立新町小学校	500
中京区民ふれあいまつり2017	10/29	京都市立中京中学校グラウンド	1,000
下京区ふれ愛ひろば	11/12	梅小路公園	1,000
南区民ふれあいまつり	11/12	東寺(教王護国寺)境内	200
ふれあい“やましな”2017区民まつり	11/23	山科中央公園	100
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	200
消防団フェスタ 京都「おやじの会」連絡会ブース	11/26	梅小路公園	500
ガールスカウト京都連盟 「国際ガールズデー 世界と手をつなごう」	11/26	京都市北文化会館	300
東山区民ふれあいまつりひろば2017	12/3	東山開晴館グラウンド	200

※ 上記以外にも地区独自で地域の各種催し等に啓発ブース等の参画をされています。

(3) 広報活動の展開

広報内容	期間	場所	備考
駅周辺の広告 (ポスター)	5月 (1か月間)	JR西日本、近鉄、南海、京阪、 阪急、WILLER TRAINS (旧 KTR)、京都市地下鉄	第4(近畿)ブロック合同事業 (JR西日本以外は京都府支部単独事業)
KBS京都テレビスポット			15秒スポット(通年)
ケーブルテレビ		京丹波町	
在阪4テレビ局(毎日、 朝日、関西、読売)			第4(近畿)ブロック合同事業(通年) ※滋賀県支部除く
KBS京都、FM京都、 FMあやべラジオ放送			KBS京都、FMあやべのラジオ放送は通 年
日赤広報チラシの配布	4~5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
立て看板の設置	5/1~31	支部	
市民新聞等による広報	4~5月	各地域の啓発(23地域)	地区に依頼
赤十字バナー掲揚	4/10~5/21	七条通り	
世界赤十字デーライト アップ	5/8、9	京都府庁旧本館、元離宮二条 城、園部城、舞鶴赤十字病院	園部城は5/9に実施
パネル展示	4/28~5/19	左京区役所	
	5/2~31	集西楽サカタニ	5/21に支部職員による「日本赤十字社 の災害救援について」講演
	5/1~12	右京区役所	
	7/23	京都第一赤十字病院	病院フェスティバル(キッズセミナー)
	7/31	西京極スタジアム	上京サンガデー
	8/5	京都市立鷹峯小学校	鷹峯学区ふれあいまつり
	9/4~7	京都府立嵯峨野高等学校	文化祭
	9/5~8	京都府立鳥羽高等学校	文化祭
	9/11~14	華頂女子高等学校	文化祭
	10/8	京都市立仁和小学校	仁和まつり(赤十字奉仕団ブース)
11/5	宇治市総合福祉会館	2017宇治福祉まつり RC京都宇治支会によるブース出展	

(4) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」着ぐるみ出動状況

名称	期日	場所	備考
新入生歓迎会	4/11	京都府立北嵯峨高等学校	貸出
新入生歓迎会	4/12～13	京都府立鳥羽高等学校	貸出
ひろげよう赤十字の輪(和)	5/14	京都駅前地下街ポルタプラザ	
まいづる田辺城まつり	5/28	舞鶴市田辺城舞鶴公園	
病院フェスティバル(キッズセミナー)	7/23	京都第一赤十字病院	
文化祭	9/11～14	華頂女子高等学校	貸出
あすのKyoto・地域創生フェスタ	11/23	京都府立植物園	
有功会小児科病棟激励	12/22	京都第一赤十字病院	
有功会小児科病棟激励	12/25	京都第二赤十字病院	

1 2. 赤十字大会の開催

項目	期日	場所	参加者数
全国赤十字大会	5/25	東京都・明治神宮会館	35

1 3. 評議員会

実施日	場所	議案
6/12	京都府支部	支部・施設の平成28年度決算

1 4. 業務・会計監査

実施日	施設名
6/5	京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、京都府赤十字血液センター
6/6	京都第一赤十字病院、京都府支部



## 平成 29 年度の主な行事

年 月 日 (曜)	行 事	開 催 場 所
5月1日(月)～31日(水)	赤十字運動月間	京都府内一円
5月14日(日)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	京都駅前地下街 ポルタプラザ
5月17日(水)	有功会セミナー	大阪府池田市、 吹田市
5月20日(土)	京都府支部救護班要員基礎研修	京都第一赤十字病院
5月28日(日)	有功会チャリティーゴルフコンペ	舞鶴市
5月28日(日)	啓発キャンペーン「ひろげよう赤十字の輪(和)」	舞鶴市 (まいづる田辺城)
6月1日(木)、2日(金)	赤十字奉仕団中央委員会	日本赤十字社本社
6月17日(土)	第4ブロック支部合同災害救護訓練	京丹波町 (丹波自然運動公園)
8月5日(土)～7日(月)	京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	宇治市 (アクトパル宇治)
8月26日(土)	亀岡市防災訓練	亀岡市
9月2日(土)	京都市総合防災訓練	京都市南区
9月3日(日)	京都府総合防災訓練	八幡市
9月3日(日)	福知山市地域防災訓練	福知山市
9月6日(水)	赤十字奉仕団京都府支部委員会	京都府支部
10月11日(水)	有功会総会	京都市下京区
10月15日(日)	宇治市総合防災訓練	宇治市
10月19日(木)～20日(金)	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	香川県高松市
11月8日(水)	JR列車事故総合訓練	向日市
11月12日(日)	京都府原子力総合防災訓練	綾部市
11月25日(土)	災害救護ロジスティクス合同研修	京都市上京区 (京あんしん館他)
12月1日(金)～25日(月)	第35回「NHK海外たすけあい」運動	京都府一円
12月3日(日)	出水学区防災訓練(地域防災セミナー)	京都市上京区
12月9日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市下京区
12月23日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市南区

## 平成30年度事業計画書

発行 平成30年2月9日  
発行元 日本赤十字社京都府支部

住所 京都市東山区三十三間堂廻り町644  
TEL 075-541-9326 (代表)  
FAX 075-541-1361



